

平成19年度事業計画

(自平成19年3月1日 至平成20年2月29日)

社団法人 溶接学会

平成19年度において、本会は溶接研究の拡充振興及び溶接教育の推進強化を目標として下記の事業を行う。

1. 全国大会（定款第3条1項）

1.1 春季全国大会

平成19年4月18日～20日（財）日本教育会館
研究発表講演（90件）、特別講演「世界のエネルギー・環境動向にタイする取り組み」、シンポジウム「溶接・接合工学におけるビジュアル化の最前線」、フォーラム「溶接冶金現象のその場観察の現象と仮題」、若手会員のためのフォーラム、若手イブニングフォーラム

1.2 秋季全国大会

平成19年9月19日（水）～21日（金）信州大学（長野市）
研究発表講演、特別講演、溶接学会論文賞受賞講演
フォーラム「溶接構造物の疲労健全性モニタリング」、若手会員のためのフォーラム、技術セッション、ワークショップ

2. 講習会（定款第3条1項）

2.1 平成19年度溶接技術基礎講座（第35回）

会期 平成19年6月7日～8日
会場 科学技術館（東京）

2.2 平成19年度溶接工学夏季大学（第56回）「溶接・接合の基礎学理と実践」

会期 平成19年7月18日～19日
会場 大阪大学接合科学研究所 荒田記念館（大阪市）

2.3 工業高校教員のための溶接工学夏期講座（第43回）

会期 平成19年8月
会場 東部地区

3. 刊行（定款第3条3項）

3.1 溶接学会誌 自77巻2号（平成19年3月号）至78巻1号（平成20年1月号）8冊

3.2 溶接学会論文集（WEB出版）第25巻2号（平成19年5月）～第26巻1号（平成20年2月）4冊

3.3 全国大会講演概要集（第80集及び第81集）2冊

3.4 溶接学会技術資料を随時刊行する。

3.5 平成19年度溶接工学夏季大学教材「溶接・接合の基礎学理と実践」

3.6 Mate2008 14th Symposium on "Microjoining and Assembly Technology in Electronics" 論文集

3.7 溶接管理技術者2級用教本改訂版（産報出版）

4. 第75回通常総会

開催期日 平成19年4月19日

開催場所 （財）日本教育会館

議題 1) 平成18年度事業報告承認の件

2) 平成18年度取支決算報告承認の件

3) 監査報告

4) 平成19年度事業計画承認の件

5) 平成19年度取支予算承認の件

6) 特別員推薦の件

7) 表彰の件

8) 溶接学会フェロー認定の件

5. 役員会

5.1 理事会

定例理事会を8回（3, 4, 6, 9, 12, 1, 2, 3各月）開催（5, 6, 7, 8, 10, 11各月は休会）及び必要あるとき開催

5.2 各業務担当理事会

必要あるとき随時開催

5.3 支部長会議及び支部幹事会

必要あるとき随時開催

6. 業務活動

6.1 企画委員会

学会のさらなる活性化に向けて、学会員のメリット創出、学会の情報化推進、溶接技術者教育、研究委員会の活性化、学会支部や溶接連合講演会の継続など日本溶接協会並びに産報出版社との連携のあり方など、アクションプログラムの効果的な実施方法を引き続き検討する。その一方で、平成19年度は特に会勢増強、活動資金獲得に向けた活動を強化して展開する。これによって中・長期における会務運営安定化の基盤作りに着手する。

6.2 業務活動委員長会議

会務運営を円滑にして会員サービスを向上させるため、各委員会間の連携を密にして効率のよい活動の展開を図る。（今期は企画委員会が担当する。）

6.3 溶接情報化委員会

年度内4回の定例委員会を開催し、本会の学術情報公開の基本方針に従い、本会の出版物、研究委員会資料等の情報発信形態等を検討すると同時に、本会HPのメンテナンスシステムを検討する。

また、溶接情報センターを通じた日本溶接協会との情報化推進ワークを継続して行っていく。本会HPと溶接情報センターとのリンクの仕方、センターへの情報提供の仕方（電子化権の取扱い）、情報検索システム、キーワードづけ、などが主な検討項目である。

6.4 編集委員会

溶接学会誌、溶接学会論文集の編集及び刊行を行う。論文集はWEB論文集として発行する。溶接学会誌の内容改訂を行う。

国立情報学研究所（NII）の電子図書館サービス（NACSIS-ELS）事業に引き続き参加し、溶接学会誌は創刊号からを対象として発行日から3年経過後に同サービスにて公開する。また溶接学会論文集は創刊号からを対象として発行直後から同サービスにて公開する。

科学技術情報発信・流通総合システム（J-Stage）に引き続き参加して、溶接学会論文集を発行直後から同サービスにて公開する。

英文誌 STWJ (Science and Technology of Welding and Joining) の共同編集に引き続き参加する。

6.5 論文査読・審査委員会

昨年度に引き続き、インターネット利用による電子委員会をさらに推進し、査読期間の短縮を促進するとともに、投稿者と

査読者がともに便利で使いやすい電子委員会システムへの改善に努める。全委員が集まる定例委員会は原則年度内1回の開催とし、電子委員会システム 遂行上の課題の確認と改善のための検討、およびインターネットのみでは伝わりにくい種々の意見交換および議論にあてる。

STWJへの推薦論文を選考し、同誌への投稿を推進することで海外への本学会研究活動の情報発信を引き続き進める。

6.6 全国大会運営委員会

全国大会の企画・運営について審議決定及び実施する。

講演概要集第80集及び第81集を発行する。

春季・秋季両大会において有識者による特別講演を実施する。

国立情報学研究所（NII）の電子図書館サービス（NACSIS-EIS）への参加に伴い、講演概要集の発行日より1年経過後同サービスにて引き続き公開する。

科学技術情報発信・流通総合システム（J-Stage）を利用した発表及び投稿申込を実施し、引き続き公開するが、発行日より即同サービスに変更した。

6.7 溶接教育委員会

- (1) 必要に応じて委員会を開催し、本会の普及・教育活動に関する課題について検討する。
- (2) IIW 特認コースを踏まえて、本部・支部主催の講座・講習会をモジュール毎に整理するとともに、受講者のニーズをヒアリングしながら、内容を企画立案し実施する。
 - 1) 平成19年度溶接工学夏季大学（前掲）
 - 2) 平成19年度溶接技術基礎講座（前掲）
 - 3) 第43回工高教員のための溶接工学夏期講座（前掲）
 - 4) 溶接・接合技術セミナー
 - 5) 溶接技術実用講座（支部と共に）
 - 6) 新規企画講習会、セミナーなど
- (3) IIW 第 XIV 委員会等と連絡し、各国と溶接教育について情報を交換する。
- (4) 国際溶接学会（IIW）特認コースの実施運営要領について検討する。
- (5) 溶接技術者・溶接技能者の育成のための学協会と教育機関（大学・高専・工業高校）の連携について検討する。
- (6) 日本溶接協会教育委員会と連携し、IIWスキームに準拠した溶接技術者教育用テキストの作成に向けた検討を行う。

6.8 國際交流委員会

必要ある時隨時開催し、國際交流事業の企画立案及び実行態勢の整備を行う。

国際溶接学会（IIW）に参加する。日米協定、日韓協定及び日越協定に基づく活動（合同シンポジウム等を含む）を推進する。

第8回国際シンポジウム（8WS）に協力する。

アジア溶接連盟（AWF）の活動に引き続き参加する。

6.9 科学研究費委員会

必要あるとき随时開催し、文部科学省科学研究費に係る問題の検討及び処理を行う。

6.10 溶接用語委員会

- (1) JIW 第 6 委員会と合同で適宜、委員会を開催し、IIW 第 VI 委員会の活動を支援する。

- (2) 溶接・接合辞典の刊行を検討する。

- (3) JIS 溶接用語改訂に関し、日本溶接協会規格委員会に協力する。

7. 若手会員の会

7.1 若手会員の会運営委員会

若手会員間のネットワークを強化および国際化するとともに、学会活動に対する積極的な参加を促進することを目的として、魅力ある各種イベント・事業を企画・実施する。また、学会員以外の方々にも参加していただけるような行事を企画し、より幅広く活動を展開する。

7.2 イベント

- (1) 春季全国大会フォーラム（共催：（財）溶接接合工学振興会）
例年どおり全国大会の講演と重複する時間を避け、夕刻からの開催とする「イブニングフォーラム」の形式を踏襲する。

主題：記念基金助成活動「グローバルネットワークの形成プロジェクト」の現状と活動報告

日時：平成19年4月19日（木）17:00～19:30

場所：日本教育会館（春季全国大会開催会場）

なお、秋季全国大会時のイブニングフォーラムは「若手講演者の研究紹介と若手会員の交流会」の開催を予定している。

- (2) The 3rd JWS-KWS Joint Symposium of Young Researchers

日時：平成19年5月10日（木）11:00～16:00

場所：COEX（Seoul, Korea）

- (3) セミナー、勉強会、見学会等を開催し、若手会員の活動を支援する。

- (4) 若手会員間における学会へのニーズ、期待を把握し、溶接学会のあるべき姿の提言を行う。

7.3 情報交換および広報

- (1) 溶接学会誌「若手会員の会 自由編集のページ」に連載記事、活動報告等を掲載する。

- (2) 溶接学会誌第76巻第2号に特集記事「溶接プロセス予測モデルの最前線」を掲載する。

- (3) ホームページを一新し、活動報告、研究室・研究所紹介等の情報を掲載する。

- (4) メーリングリスト（E-mail）による情報交換を促進する。

8. 研究活動

8.1 研究推進部会

- (1) 随時開催し、各研究委員会の活動情況の把握及び調整並びに特別研究会、アドホック研究会及びミニ研究会等の設置についての起案・規模策定及び理事会への答申等を行う。学会活動の情報化に伴う研究委員会HPの拡充、研究委員会設置形態の見直し、国際対応、ナショプロ化対応等について検討する。

- (2) 特別研究会「建築鉄骨における溶融亜鉛メッキ割れに関する研究」（中込忠男主査）が終了する。

- (3) 特別研究会「TIG 溶接並みの高品質溶接を可能とする次世代 MIG 溶接プロセスの開発・実用化」（平岡和雄、平田好則両主査）

純 ArMIG が使用される時の波及効果を用途や分野についてまとめる。これらをまとめた「波及効果 MAP」を作成することを目標に、3回程度の研究会を行う。また研究委員会と連携してシンポジウムの開催を予定している。

- (4) アドホック研究会「ファイバーレーザ SMART 加工研究会」（塚本雅裕 主査）

- 高品質レーザの一つであるファイバーレーザを用いた加工を中心にレーザ加工の現状を調査し、これからのレーザ加工（レーザ SMART 加工）について、さらに調査を進めるとともにレーザ SMART 加工に関するシンポジウム開催を予定している。
- (5) 春季全国大会においてフォーラム（溶接冶金研究委員会）を開催する。（前掲）
- (6) 秋季全国大会においてフォーラム（溶接疲労強度研究委員会）を開催する。（前掲）

8.2 溶接構造研究委員会

- (1) 開催回数 年 4 回
- (2) 会期 1回の会期は原則として 1 日または 2 日とする。
- (3) 開催期、開催地および内容

会合名	開催日	開催地	内 容
174回	3月	東京	研究報告5件（日本船舶海洋学会材料・溶接部会との合同委員会）
175回	5月	東京	研究報告5件
176回	11月	大阪	研究報告5件
177回	1月	東京	研究報告5件

8.3 溶接法研究委員会

- (1) 開催回数 年 4 回
- (2) 見学会 地方開催時および隨時
- (3) 会期 1回の会期は原則として 1 日とする。
- (4) 開催期、開催地および内容

会合名	開催日	開催地	内 容
198回	5月	東京	基調講演、研究報告 5～6 件
199回	8月	大阪	基調講演、研究報告 10～12 件（アーケ物理研究委員会と合同）
200回	未定	未定	基調講演、研究報告 10～12 件（溶接法200回記念）
201回	2月	東京	基調講演、研究報告 10～12 件（溶接冶金研究委員会と合同）

JIW 第12委員会と協力して国際研究活動を行う

8.4 溶接冶金研究委員会

- (1) 開催回数 年 4 回
- (2) 見学会 地方開催時および隨時
- (3) 会期 1回の会期は原則として 1 日または 2 日とする。
- (4) 開催期、開催地および内容

会合名	開催日	開催地	内 容
188回	5月	東京	研究報告 5～6 件
189回	9月	大阪	研究報告 5～6 件
190回	10月	広島	研究報告 5～6 件
191回	2月	東京	研究報告 10～12 件（溶接法研究委員会と合同）

8.5 溶接疲労強度研究委員会

- (1) 開催回数 年 4 回
- (2) 会期 1回の会期は原則として 1 日とする。
- (3) 開催期、開催地および内容

会合名	開催日	開催地	内 容
213回	4月	東京	研究発表 4～6 件
214回	6月	東京	研究発表 4～6 件
215回	11月	未定	研究発表 4～6 件、見学会
216回	1月	東京	研究発表 4～6 件

8.6 高エネルギービーム加工研究委員会

- (1) 開催回数 年 3 回
- (2) 会期 1回の会期は、原則として 1 日とする。
- (3) 開催期、開催地および内容

会合名	開催日	開催地	内 容
55回	5月	東京	研究発表 5～6 件、文献紹介、その他
56回	10月	大阪	研究発表 5～6 件、文献紹介、その他
57回	2月	東京	研究発表 5～6 件、文献紹介、その他

JIW 第 4 委員会と協力して国際研究活動を行う

8.7 軽構造接合加工研究委員会

- (1) 開催回数 年 4 回
- (2) 会期 1回の会期は原則として 1 日とする。
- (3) 開催期、開催地および内容

会合名	開催日	開催地	内 容
77回	6月	東京	講演・研究報告 4～5 件
78回	9月	大阪	講演・研究報告 4～5 件
79回	11月	未定	講演・研究報告 4～5 件、見学会
80回	1月	東京	講演・研究報告 4～5 件

他の研究委員会、他学協会と協力して活動する。
WG 活動を行う。

8.8 溶接アーク物理研究委員会

- (1) 開催回数 年 4 回
- (2) 会期 1回の会期は、合同研究委員会のときは 2 日、その他 1 日または 2 日とする。
- (3) 開催期、開催地および内容

会合名	開催日	開催地	内 容
166回	5月	東京	年度を通じ溶接現象に関する事実と法則の探求と
167回	8月	大阪	
168回	11月	東京	
169回	1月	東京	

JIW 第 212 委員会など協力して国際研究活動を行う

8.9 マイクロ接合研究委員会

- (1) 開催回数 年 3 回
- (2) 会期 1回の会期は原則として 1 日とする。
- (3) 開催期、開催地および内容

会合名	開催日	開催地	内 容
84回	5月	東京	講演、研究発表 4～7 件
85回	9月	東京	講演、研究発表 4～7 件
86回	12月	東京	講演、研究発表 4～7 件

(4) ソルダリング分科会を開催する

会合名	開催日	開催地	内 容
43回	7月	東京	単独開催、テーマ設定方式
44回	10月	東京	単独開催、テーマ設定方式

(5) Mate2008 シンポジウムを開催する

8.10 界面接合研究委員会

- (1) 開催回数 年 3 回
- (2) 会期 1回の会期は原則として 1 日とする。
- (3) 開催期、開催地および内容

会合名	開催日	開催地	内 容
75回	5月	東京	特別講演 1 件・研究発表 4～5 件
76回	10月	東京	特別講演 1 件・研究発表 4～5 件
77回	1月	東京	特別講演 1 件・研究発表 4～5 件

JIW 第 1 委員会など協力して国際研究活動を行う

9. 溶接学会記念基金助成活動

アジア若手研究者フォーラム "The 3rd JWS-KWS Joint Symposium of Young Researchers"

(5月10日, Seoul, Korea) 及び本年末インドネシアにての開催に向け、講演者を派遣予定。

10. 國内活動

- 10.1 日本学術会議材料工学研究連絡委員会、同土木工学・建築学委員会、同機械工学委員会、材料戦略委員会、金属連合協議会、生産学術連合会、電子情報技術産業協会、日本技術者教育認定機構、日本工学会、日本溶接協会、日本非破壊検査協会、その他、溶接学術連合講演会など関係学協会との協力態勢を積極的に樹立し本会の目的達成を図る。
- 10.2 各政府機関に対して行政協力を積極的に行う。
- 10.3 支部活動を活発に行う。

11. 國際活動

- 11.1 JIW の活動を支援し、IIW の活動を通じて溶接に関する国

- 際活動を行う。
- 11.2 第8回国際シンポジウム（8WS）の平成20年11月16日～18日（京都）開催の準備をする。
- 11.3 各国学協会と各種情報、機関誌等を交換して積極的に交流を図る。
- 11.4 会員による海外視察の立案、国外からの来訪者による特別

- 講演の実施、訪日外国人の国内視察斡旋などにより研究及び経験の交流を図る。
- 11.5 米国溶接協会（AWS）、大韓溶接学会（KWS）、及びベトナム溶接学会（VWS）の各協力協定に基づき交流活動を推進する。
- アジア溶接連盟（AWF）の運営・活動に協力する。

平成19年度支部事業計画

1. 北海道支部

1. 事業
 1.1 見学会
 1.2 講習会
 1.3 研究会（北見市内）
 1.4 映画会
 2. 会務報告

- 2.1 平成19年度支部商議員会並びに支部総会
 日 時：平成19年3月22日（木） 16:00～17:00
 場 所：北海道大学工学部本館 A1-70室
 2.2 各賞授賞者審査委員会及び選考委員会
 (1) 溶接学会溶接技術普及賞審査委員会
 (2) 溶接学会溶接技術奨励賞審査委員会
 (3) 溶接学会奨学賞・溶接学会北海道支部学生奨学賞選考委員会
 (4) 溶接学会溶接学術振興賞

- 2.3 幹事会（3回開催予定）

2. 東北支部

1. 事業
 1.1 講習会・セミナーなど
 第19回溶接・接合研究会
 日 時：平成19年7月20日（金）13:00-17:00（予定）
 場 所：東北大學工学部青葉記念会館（予定）
 研究発表5～10件
 参加者：40～50名

2. 会務報告
 2.1 第44回商議員会
 日 時：平成19年4月7日（土）11:00～12:00
 場 所：東北地区溶接技術検定委員会会議室（仙台市泉区）
 2.2 表彰
 日 時：平成19年4月7日（土）12:00～12:30
 場 所：東北地区溶接技術検定委員会会議室（仙台市泉区）
 平成18年度溶接技術奨励賞：2名
 平成18年度溶接技術普及賞：2名
 平成18年度本部奨学賞（報告）：1名
 平成18年度東北支部奨学賞（報告）：4名
 2.3 総会：商議員会議事録抜粋を支部会員に郵送（平成19年6月中旬）

3. 東部支部

1. 第35回 実用溶接講座（見学会&講習会）実施予定。詳細検討中。
 2. 地区講演会・講習会
 (1) 東京地区：実施予定なし
 (2) 神奈川地区：実施予定なし
 (3) 千葉地区：主題：「鋼構造物の溶接と品質管理」
 主催：(社)日本溶接協会 千葉県支部
 共催：(社)溶接学会 東部支部千葉県地区委員会
 開催日：平成19年3月23日（金），9:30～15:30
 開催場所：千葉県産業支援技術研究所
 講演題目：1. 鉄骨・橋梁の溶接（駒井鉄工，横山 栄）
 2. 造船の溶接（三井造船，小俣和夫）
 3. 化学機器の溶接（神戸製鋼，細井宏一）
 4. 建築用金属製内外装の溶接（菊川工業，川上十伍）
 (4) 茨城地区：実施予定（詳細未定）
 (5) 埼玉地区：「アーク溶接技術の基礎」について7月頃
 講演会（詳細未定）
 (6) 栃木地区：平成19年6月、研修会（詳細未定）
 (7) 群馬地区：実施予定なし
 (8) 新潟地区：主題：「溶接変形の基礎と応用」
 主催：(社)溶接学会 東部支部新潟県地区委員会
 共催：(財)新潟県県央地域地場産業振興センター
 開催日：平成19年3月22日（木），13:30～16:00
 開催場所：(財)新潟県県央地域地場産業振興センター
 講演題目：1. 溶接変形の生成メカニズム（阪大接合
 研，芹澤 久）
 2. 溶接変形とその防止（IHI，猪瀬幸太郎）
 (9) 山梨地区：実施予定なし
 (10) 長野地区：溶接学会 平成19年度秋季全国大会、ワー
 クショップ共催
 主題：「建築鉄骨における溶接技術の進化」
 主催：(社)溶接学会 東部支部
 共催：(社)溶接学会 東部支部長野県地区委員会
 開催日：平成19年9月19日（水），14:00～17:10
 開催場所：信州大学 工学部
 講演題目：1. 建築鉄骨向け溶接材料の開発および動

<p>向（神鋼、中野）</p> <p>2. 端部欠陥に適用する非破壊検査技術（ジャスト、笠原）</p> <p>3. 建築鉄骨向け溶接口ボットの開発状況（神鋼、竹内）</p> <p>4. JASS6 改正に伴い必要とされる溶接施工管理（角藤、山下）</p> <p>3. 平成19年度、通常総会 通常総会は隔年開催のため、平成19年度は開催せず、審議事項については書類審査とする。</p> <p>4. 特別講演 通常総会開催時に計画しているが、平成19年度は通常総会が開催されないため、実施しない。</p> <p>5. 表彰</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) 平成18年度溶接技術奨励賞、溶接技術普及賞の表彰 平成19年5月24日（木）、16:40～17:00、（社）溶接学会、会議室 第145回 常任幹事・地区委員長会議終了後、受賞式を行い表彰する。 受賞祝賀会：授賞式終了後、秋葉原周辺にて実施予定。 2) 平成18年度溶接学会奨学賞、東部支部奨学賞の表彰 平成19年3月 楠を推薦者に送付し、推薦者から受賞者に楠を授与して表彰する。 <p>6. 常任幹事会・地区委員長会議 適宜開催する。</p> <p>4. 東海支部</p> <p>1. 事業計画</p> <p>1.1 講習会、セミナーなど</p> <p>(1) 溶接研究会</p> <p>第63回 平成19年8月 場所：名古屋市工業研究所 視聴覚室 テーマ：未定</p> <p>第64回 平成19年10月 場所：名古屋大学 VBL テーマ：「未定」</p> <p>第65回 平成20年2月 共 催：中部レーザ応用研究会と共に 場所：名古屋大学 VBL テーマ：「最近のレーザ加工技術」</p> <p>(2) 講習会</p> <p>第15回溶接技術講習会 テーマ案：未定 開催日：平成19年12月 場所：未定</p> <p>1.2 JICA国際溶接技術者研修コースへの協力 4月16日から10月19日（10名の研修生）</p> <p>2. 会務計画</p> <p>2.1 平成19年度支部総会及び特別講演 日 時：平成19年5月30日 13:30～17:00 場所：名古屋大学 VBL「ベンチャーホール」</p>	<p>議 事：1) 平成18年度事業報告及び決算報告 2) 平成19年度支部役員の選出 3) 平成19年度事業計画（案）及び予算案の審議 4) 支部三賞授賞式： 溶接技術奨励賞— 楠本 清志 氏 溶接技術普及賞— 山下 昇一 氏 特別講演：「自動車部品のレーザ溶接技術（仮題）」 漆崎 守氏</p> <p>2.2 支部商議員会および支部役員会 1回商議員会 平成19年4月27日 於：名古屋大学 2回商議員会 平成19年5月30日 於：名古屋大学 支部3賞授賞審査委員会 平成19年3月16日 名古屋大学</p> <p>5. 北陸支部</p> <p>1. 事業</p> <p>1.1 特別講演会 開催日：平成19年7月及び11月予定 場 所：7月は、工場見学先で開催 11月は、未定</p> <p>1.2 工場見学 開催日：平成19年7月 場所：未定</p> <p>1.3 研究発表会 開催日：平成18年11月予定 場 所：未定</p> <p>2. 会務報告</p> <p>2.1 平成19年度通常総会 開催日：平成18年7月予定 場 所：工場見学先で開催</p> <p>2.2 幹事会・商議員会 開催日：平成18年7月及び11月予定 場 所：7月は、工場見学先 11月は未定</p> <p>6. 関西支部</p> <p>1. 事業</p> <p>(1) 平成19年度講演・工場見学会 関西地区の工場見学および研究発表を計画（平成19年秋頃、場所・テーマ未定） (2) 上記研究発表テキストを刊行予定</p> <p>2. 会務</p> <p>(1) 商議員会・幹事会 平成19年度商議員会・幹事会を平成19年5月に開催予定（場所未定）</p> <p>7. 中国支部</p> <p>1. 事業計画</p> <p>1.1 研究会・見学会 日程：平成19年11月（予定） 場所：（案）第10回：平成19年度：ヤマネ鉄工建設（株） 第9回：平成18年度：（株）アイ・エイチ・ア イマリンユナイテッド呉工場 第8回：平成17年度：JFEスチール 第7回：平成15年度：バブコック日立（株）呉 事業所 第6回：平成14年度：マツダ（株）防府工場 第5回：平成13年度：三井造船（株）玉野事業 所</p>
---	--

<p>第4回：平成12年度：三菱重工業（株）広島製作所 第3回：平成11年度：松下電子工業（株）岡山工場 第2回：平成10年度：神鋼機器工業（株） 第1回：平成09年度：（株）日立製作所 笠戸工場 参加者数：30～80名（過去実績）</p>	<p>2.4 第3回 幹事会・商議員会合同会議 日程：平成20年3月 議題：19年度事業・会務報告、20年度事業・会務計画説明、奨学賞受賞報告</p>
<p>1.2 溶接技術講習会 題目：「未定」 日時：未定 会場：未定 参加者数：60名（予定）</p>	<p>2.5 総会・特別講演会 日程：平成20年3月 議題：19年度事業・会務報告、20年度事業・会務計画説明、表彰式 受賞記念講演会：2名程度</p>
<p>1.3 第3回 学修会 日程：未定 会場：近畿大学工学部、広島大学工学部、他団体との共催（未定） 趣旨：溶接学会員の増員、中国支部の若手技術者の基礎力養成、中国支部ネットワーク作り 内容：中国支部会員（講師）5名程度による講義、WES 2級テキスト使用 初日：基礎講座、2日目：専門講座 参加者数：70名（第1回）、49名（第2回）、32名（第3回）</p>	<p>8. 四国支部 1. 事業 1.1 講習会、セミナー 第12回材料関連学協会支部・研究会連合講演会 会期：平成19年3月7日 場所 愛媛大学総合メディアセンター・メディアホール 参加者 46名 第22回溶接技術実用講座 会期：平成19年9月14日 場所 徳島県工業技術センター 第13回材料関連学協会支部・研究会連合講演会 会期：平成20年3月7日 場所 香川県産業技術センター</p>
<p>1.4 特別講演会 日程：平成19年10月26日（金）（予定） 場所：未定 趣旨：増淵教授（MIT）が来広される機会に溶接を専門とする技術者および研究者へ講義をして頂く。 内容：未定、機械学会、材料学会、船舶海洋工学会、航空宇宙学会との共催の可能性有り。</p>	<p>1.2 刊行（無し） 2. 会務 2.1 常任幹事、地区委員長会議 2.1.1 第1回任幹回 平成19年9月14日 徳島県工業技術センター 2.1.1 第2回任幹回 平成20年3月7日 香川県産業技術センター</p>
<p>1.5 國際セミナー 日程：平成19年11月30日（金）（予定） 会場：広島大学学士会館（予定） 趣旨：国内外研究者による溶接、接合研究の現状紹介 内容：中国支部、溶接冶金研究委員会との共催で、広大、阪大、東北大、北見工大、トロント大学、ウォーターラー大学、イリノイ大学、ウイスコンシン大学、アーヘン工科大学、ドルトムント大学、ケンブリッジ大学、ナンテ大学の各研究者に発表を依頼予定。</p>	<p>9. 九州支部 1. 事業 1.1 溶接設計講座 1.2 溶接技術者育成教育 日時 5月26日、27日（予定） 会場 戸畠生涯教育センター 1.3 刊行 出版物名：溶接学会九州支部講演論文集、第4号</p>
<p>2. 会務計画 2.1 第1回 幹事会 日程：平成19年5月（予定） 議題：研究会・見学会、学修会、講習会等打合せ 2.2 第2回 幹事会・受賞審査委員会 日程：平成19年12月（予定） 議題：19年度事業・会務報告、20年度事業・会務計画立案案、各種表彰推薦者の審査 2.3 商議員選挙 日程：平成19年12月（予定）</p>	<p>2. 会務報告 2.1 平成19年度通常総会・研究発表会 日時 7月27日 会場 九州大学箱崎キャンパス 2.2 平成19年度商議員会 日時 7月27日 会場 九州大学箱崎キャンパス</p>